



大隈記念館(右)
 大隈侯像と大隈重信旧宅(左)



威厳と静寂の佇まい、大隈記念館

「大隈記念館」と「大隈重信旧宅(生家)」は、佐賀市水ヶ江、まだ周囲には田圃の残る武家屋敷跡にあります。

「大隈記念館」は、大隈侯をイメージしてデザインされたもので、全体的に巨岩のように見えるのは、大隈侯のどっしりして動かざる姿をイメージしています。(上の写真)設計は、早稲田大学名誉教授・今村兼次博士の手によるもので、昭和四十二年十月、建設委員から佐賀市に寄贈され開館に至っています。

館内には大隈侯にまつわる歴史資料が展示され、大隈侯の生涯をイラストやビデオで解説しています。中でも「緋のガウン」が目立ちます。早稲田大学総長の大隈侯は、大正二年十月の創立三十周年式典に緋のガウンをまとい、式服式帽の正装でのぞみ教旨を宣言しました。

以後、大正十一年一月十日逝去の日まで在任し、緋のガウンを愛用していました。

大隈侯が「字を書かなかった」とは有名です。それだけに「自筆の書」は希世のものとして珍藏されており、当記念館には「村岡氏送別詩」など二点が展示されています。

「大隈重信旧宅」は、天保以前の武家屋敷の面影を残した生家であり、国の史跡に指定されています。一部瓦葺の家屋は、大隈侯が産声を上げて成長した八太郎時代の家とそその遺徳をしのぶことができる貴重な遺跡です。

敷地三百四十四坪、建坪五十五坪で、緑高三百石取りの武家屋敷の佇まいを今にとどめています。両所は、早稲田マンにとって必見の地でありましょう。(月曜日、国民の休日の翌日休館) (編集)

目次



B棟(新8号館)

威厳と静寂の佇まい、大隈記念館	編集	高鷺 近	1
会長挨拶	会長	山下邦康	2
活動計画と予算・役員紹介	役員会		2
寄稿「きものに親しんで」		中村真弓	2
インタビュー「我が家は三代ワセダマン」		佐久間厚	3
早稲田ニュース	編集部		3
早稲田大学一文・二文再編	編集	高鷺 近	4
おとなさん 国分寺稲門会		谷田成雄	4
ポストマンくばりある記 秋津町		額田伊久夫	4
同好会訪問記 カラオケ同好会		内藤 慎	5
旅行同好会		風間和夫	5
西北の風「自問自答」		夏山一彦	5
寄稿「故郷 兵庫県に帰る」		八木勝利	5
早稲田大学近未来構想	編集	高鷺 近	6-7
寄稿「碁盤の石は人生の縮図」		福田 晃	7
俳句「稲酔抄」		俳句同好会	7
ショート・SHORT		石井久長・芦田均・小林傳	8
事務局から	事務局		8
ドキュメント 事務局長の某日		井垣和太	8
編集後記		岡田一郎	8

東村山稲門会役員

会長	山下 邦康	(昭36年教育)
副会長	小亀 輝雄	(昭34年商)
	長井 治	(昭29年法)
	三宅 良太	(昭36年商)
幹事	伊藤 友己	(昭51年政経)
	岡田 一郎	(昭40年商)
	小野 智	(昭30年政経)
	風間 和夫	(昭30年法)
	久保 栄二	(昭46年法)
	高鷲 昭治	(昭35年文)
	当間 慎	(昭43年法)
	内藤 伊久夫	(昭28年商)
	額田 数	(昭31年理工)
	野田 和夫	(平9年教育)
	町田 勝利	(昭53年理工)
	八木 和太	(昭47年政研)
会計	井垣 裕子	(昭37年商)
	崎山 素子	(昭52年教育)
会計監査	上 戸田 志郎	(昭40年文)
	戸田 幸夫	(昭43年法)
相談役	大西 利夫	(昭30年理工)
顧問	久世 利夫	(昭22年政経)
	塩見 之一	(昭25年専通)

(H17・9現在)

「足固めから成長期に入った稲門会」

新しい「試み」が続々スタート



会長 山下 邦康

私たちの

稲門会も十年目に入り

固めの時から成長期を迎え、会員の皆様が稲門会ライフをどうエンジョイして頂けるか、もっと素敵なメニューはないものかと役員諸氏ともども日夜頭を捻っています。

そうした試みのひとつに「お誕生会」を今秋から立ち上げることにしました。毎月該当の皆様を懇親会にお招きして、ハッピーバースデーを唄いながらお祝いしようというものです。当初は二、三人の参加者があれば上々かなとの予想でした

がふたを開けてビックリ、毎回役員幹事共々大盛況の賑わいです。会場の割烹「丸藤」のオヤジさんも料理の腕に一段と力が入ります。初めて顔を出した会員も新しい仲間

に囲まれ、「まるで十年若返ったようだ」との嬉しい感想です。

また稲門会をここまで育てて頂いたご高齢の先輩に「傘寿」のお祝い会を総会後のパーティでやろうと、目下準備中です。多くの後輩に囲まれチョットはにかみながらも嬉しそうな先輩方の顔を勝手に想像しています。嬉しいのは先輩だけではなく、私達も長寿をお祝い出来る喜びを嬉しく、誇り

に思っています。

今、母校はご承知のように新しい時代の教育、研究体制の整備に大奮闘中です。そのため百二十五周年記念事業募金の運動を展開し、校友に協力をあおいでいます。丁度今が折り返し点、目標にはまだまだ遠く力を抜くわけにはいきません。私たちの稲門会でも「会」とは別口で皆様に協力をお願いしています。すでに多くの会員が協賛していますが、さてあなたは如何でしょうか。

今更、大学から「満点」をもらおうとの方は少ないでしょうが、せめて心の中の「満点」は取っておきたいものです。

冒頭に述べたようにわが稲門会も十周年です。実行委員の方々は何かよい企画はないものかと鳩首協議の毎日です。どうぞ、皆様のお知恵と力をお貸し頂き、一緒に稲門会を着実に育てていきたいと思っています。

(S36教育)



数年前からきもの着付けを習っている。現在稽古は休んでいるが、一応講師看板まで取得した。着付け教室では技術の習得ときものに關する知識の勉強をした。技術面では自分一人で着られるのは当然として、着方の模範実技を行い、人に着せる練習も、何種類もの帯結びも覚えた。思い通りに形がでないのがつかりする。その点きものの歴史、文様、日本の色、染めと織り、家紋などの知識に關するこ

きものに親しんで… 中村 真弓

とは興味深く、また面白い。先ごろは京友禅の老舗の小袖コレクションを見た。刺繍、摺箔、絞り、染めとまさに絢爛豪華な小袖の数々に魅了された。見ているこちらも幸せな気分になる。美術工芸品としてのきものもすばらしい。きものは今や日常着にはほど遠く、着る機会もそんなに多くはない。でも日本人に一番似合う衣装だとも思う。これからも気軽にきものライフを楽しみたいつもりだ。(S59文)

05年度活動計画(案)

- 1 第十回総会開催(十一月十三日) 講演会(東村山雄学講座) 開催 開催日は原則として奇数月の第一土曜日又は第二土曜日
- 2 役員会及び懇親会の開催 原則として毎月第一土曜日又は第二土曜日の午後開催 奇数月は講演会の前に実施 懇親会は夕刻より開催
- 3 お誕生会の開催(毎月例会あと月例会後の懇親会に当月誕生の会員を招き、お祝い会実施)
- 4 設立十周年事業企画進行 新年会(正月)・花見会(四月) 納涼会(七月)の開催
- 5 同好会の活動 新規同好会の発足促進 同好会の活動活性化と援助 会報および月刊ニュースの発行 会報は年一回、十月初旬発行 ニュースは毎月初旬十二回発行 会員名簿の発行(十月) 会員増強運動展開
- 6 早大125周年記念事業への協力 支部・近隣稲門会との交流 ホームページ・Eメールの活用
- 7 13
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12

05年度予算(案)

収入の部	単位:円
前年度からの繰越金	200,000
年会費	770,000
総会時懇親会費	330,000
十周年記念事業寄付	500,000
新年・花見・納涼会費	450,000
組織強化補助金	106,000
早大125周年募金	300,000
寄付等	50,000
合計	2,706,000
支出の部	単位:円
会場費	30,000
講師謝礼	100,000
会報ニュース等制作費	300,000
総会時懇親会等費用	300,000
新年・花見・納涼会	500,000
他会への参加費	90,000
早大125周年寄付	330,000
// 三多摩支部分	30,000
事務通信費	150,000
事務用品費	50,000
同好会補助費	100,000
その他雑費	100,000
予備費(含繰越金)	626,000
合計	2,706,000

我が家は三代ワセダマン

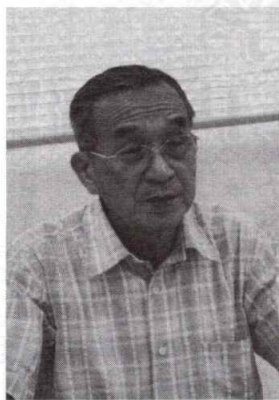
当会員の佐久間厚さんに、編集担当の岡田が「苦勞された学生時代の思い出や、健康の秘訣、近況などを伺いました。」

●三代続いてのワセダ一家とお聞きしました
たが

ハイ、私の息子が政経、孫が政経の三年に在学中です。私のおじ(母の弟)も早稲田を出ていますので、その影響で私も早稲田に入りました。

●昭和十八年ご入学とのことですが、戦争中で大変だったでしょう

早稲田に入ってから射撃部に入り、軍事訓練に明け暮れました。実弾での訓練もありました。川崎の日本鋼管に半年ほど学徒動員令による、勤勞奉仕もしました。この時は、会社の寮に大学の先生が来られて、夜に二時間ほどの授業がありました。先生も大変ですが、こちらも昼の疲れで眠くなり、苦勞しました。終戦後は、大学の焼け残った校舎で授業がありました。



佐久間さん

●終戦直後、大学へは通学できたのですか
東京の実家が空襲で焼けたので、親戚のある千葉の岬町というところから通いました。片道三時間で、途中ものすごく混むのです。

●卒業後の就職も「苦勞されたのでしょうか」
戦後五年しかたつておらず、日本経済もどん底で就職口もあまりありません。私は、愛知県の半田市にある創業間もない食品会社に就職することができました。

●お元氣そうですが、健康の秘訣は
週三回ほど近くのプールへ行き、五百メートルほどクロールで泳ぎます。二三年前までは千五百メートルから二千メートルは泳いでいました。ゴルフもやります。最近、動体視力が落ちてボールの飛んだ先がわかりにくくなったので、キャディーさんを雇い、一対一でやっています。六十五歳で仕事をリタイヤする少し前に胃を三分の一ほど切りましたが、今では何でもおいしく食べられます。

●今のお楽しみは何でしょう
囲碁ですね。東村山稲門会の囲碁大会を楽しみにしています。町内会の囲碁の集まりにも、月一回ほど参加しています。囲碁の勉強には、呉清源の「打碁集」を並べていますが、これはまさに芸術ですね。素人でも芸術を鑑賞できます。また、いろいろな本を読むことも楽しみの一つです。

●奥様を亡くされて一人住まいとか

家内は五年前に脳溢血で倒れ、二年前に亡くなりました。当初は、私が看病しました。その折に、家庭での看護が病人にとっていかに大事かがわかりました。今は一人暮らしで、料理、掃除、洗濯はもちろん、庭木の剪定も自分でします。料理などは、料理の本を買ってきいて作ったりします。結構、生活を楽しんでいます。近くに息子がおりますので、週に一回訪ねて、息子の家族と一緒に食事をしたりしています。なにことにもプラス思考で生きるようにしています。

●これまでの人生を振り返られて、いかがでしたか

自分の人生に悔いはありません。激動の青春時代も、自分なりの青春はありました。当時の大学の先生とは交流が深く、人間的な付き合いもでき、幸せでした。

●これからもお元氣でお過ごしください。
(まとめ・高鷲 近 S35文)

東村山稲門会総会のご案内

■日時 十一月十三日(日)
午後三時より

■場所 BEEL HALL
東村山市恩多町

■懇親会 午後六時〜(同ホール)
(新青梅街道沿い)

■記念講演 吉村 正氏
(早稲田大学教授・当会会員)

WASEDA NEWS

- 司法試験合格(2004年度) ()は2003年度
早稲田大学226(174)、東京大学226(201)、慶応大学170(123)、京都大学147(116)、中央大学121(104)
- 国家公務員I種試験合格
東京大学498(488)、京都大学221(200)、早稲田大学125(118)、慶応大学85(82)、九州大学73(63)
- 公認会計士合格
慶応大学208(228)、早稲田大学153(152)、東京大学93(78)、中央大学76(76)、神戸大学62(47)
- ラグビー蹴球部 12回目の大学日本一!
2005年1月9日、ラグビー蹴球部が関東学院大学を31対

19で下し、2年振りに大学王座を奪還。

- 東京六大学野球リーグ戦で完全優勝!
5月31日、早稲田大学と慶応大学の3回戦は、早稲田が4対1で慶応を下し、3季振り37回目の優勝を遂げた。
- 新8号館が竣工
西早稲田キャンパスB棟(仮称)が竣工し、新8号館として使用に供された。地上12階、地下2階。
- 小野梓記念館が竣工
旧第一学生会館跡地に建設が進められていたB棟(仮称)が小野梓記念館として竣工。地上4階、地下2階で主に大学院法務研究科が利用。地下2階に、小野記念講堂(客席数約200席)がある。



早稲田大学 一文・二文再編!

作家や俳優、ジャーナリストなどが輩出した早稲田大学の「一文」「二文」が再編されることになりました。

○七年度から、現在の第一、第二文学部を、文学そのものを主に扱う「文学部」と、作家や演劇人ら文化の担い手養成を目指す「文化構想学部」の二つに再編し、これをきっかけに「文化の発信は早稲田からと前面に打ち出す」のが狙い。

文化構想学部と文学部へ

新生「文学部」は、主に一文で展開されてきた文学、人文学のうち、特に伝統的な学問分野を継承し、発展させることにより、本学が長年蓄積してきた学問的財産を未来に継承し得る人材の育成を目指すとのこと。昼夜開講制学部が特色。

また、古典に取り組むために必要な基礎学力の養成、研究方法習熟のための教育に力を注ぐ一方、先端的な学術研究も導入する

という教育方針の下、時代の変化に対応しつつも決してその波にのみこまれることのない、確固たる学問の場を提供していくという。

創設される「文化構想学部」は、旧来の学問の枠にとらわれず、文化学、人文学を大胆に展開し、新たな「学」の創出を目指すとともに、その成果を社会に発信することのできる人材の育成を目指すというものです。

です。

この学部には六つの論系があり、多元文化（アジア・日本文化論、英語圏文化論など）、複合文化（比較文学、文化人類学など）、表象・メディア（メディア論、イメージ論など）、文芸・ジャーナリズム（文芸創作、編集ジャーナリズムなど）、現代人間（思想文化論、人間行動論など）、社会構築（社会構造論、文化環境論など）と

なっています。

いずれも、その学問を取り巻く状況の変化に応じて柔軟に組み直しながら、現実に対処し、未来を拓く新たな文化学をダイナミックに構想していくという。

在学生や卒業生を中心に、伝統ある一文・二文の名称がなくなることには抵抗を感じる人もいられるだろう。しかし、再編の理念を理解し、これを既存の両学部が持つ伝統

の継承とさらなる発展に向けての英断と受け止めた。 (編集・高鷲近 S35文)

ちよつとブレイク



募金「データ」が出た出た!

きもちのイイ話、恥ずかしい話

百二十五周年記念募金につき大学当局より新しいデータが発表された(八月十五日付)。都内二三区の達成率は五八%、千代田区がトップの二五%、三多摩の達成率は三九%だ。その中で福生市がなんと二三五%、立川市が一三三%で見事クリアした。東村山市はまだ四二%で奮闘中だ。大学の当市への依頼額は二千二百万円、現在九百二十万円だからまだまだ道は遠い。近隣各市も似たり寄ったりで、どこの稲門会も頭を抱えている。

「校友一人あたり八万円はお願いしたい」とは大学の話。残り二年に迫った募集期間だが稲門会の会員ならせめてなんとかの思いは同じだろう。こは晩酌の数を減らし、多少肴の質を落としても「ニュー早稲田」のためにひと肌脱ぎますか、ご同輩。(編集)

おとなりさん⑤

国分寺稲門会

国分寺稲門会
会長 谷田 成雄

創立総会は
稲門会が南の
勤労福祉会館、
三田会は北の

国分寺稲門会の創立は、昭和四八年五月で、三多摩支部の中では、八王子・小金井・町田に次いで四番目の誕生になります。

国分寺三田会が発足したのは、三年前の平成十三年九月二十九日ですが、いくつかの類似点があります。

国分寺稲門会が出来た時の国分寺市長は、先輩の塩谷信雄氏でした。国分寺三田会が発足した時の市長は、慶応卒の星野信夫氏で、この七月に再選されました。「のぶ」さん同士です。

国分寺市内に在住している校友は千七百人を数えるのですが、名門のゴルフ場と同じで高齢化は進みますが、若い人が仲間に入ってきて来ない。会費納入会員も百人に達しない、という悩みを抱えております。活性化を計るために、同好会活動に力を入れておりますので、これからも宜しくお願ひ申し上げます。

ポストマン くぼある記

6



秋津町の巻

額田伊久夫

秋津町のポストマンを前任の方から引き継いで約二年になります。三十年以上秋津で暮らしてしまいましたが、秋津全域を歩いた事はなく、受け持っている二十四人分ですと、秋津町殆ど全域を回ります。配っていて感じたことは、町は結構広いが、道が狭い事と直線部分が少なく、今でも東西南北がよく判らないで動いています。典型的な乱開発地域と感じています。加えてアップ・ダウンが意外と多い事です。自転車でするのが困難な坂が数箇所あります。所要時間は一時間強です。老花防止の一助として、事故を起こさない程度にしっかりと走っています。

(S31理工)



カラオケ同好会

内藤 慎

本会は平成十五年一月設立、本年未で丸三年になります。当初は山下、井垣の両氏が世話人となり、基礎を築かれ半年後に世話人が変り現在に至りました。設立時に新宿「芽ぐみ」のマスターであり、歌手のばんどうくにやす氏がママと駆けつけられました。例会は毎月月初めの土曜日役員会議の後十九時より栄町の「ドレミ」で開いております。座興としての採点ゲームでは皆さんが80点以上の高得点を挙げております。年一回は、前述の「芽ぐみ」に移動教室を行い楽しい一刻を過しております。皆様のご参加をお待ちしております。

393-5071 (S28商)

旅行同好会

風間 和夫

平成十六年春の発足で、現在会員数は三十数名。原則年一回の東村山発着のチャーターバスを利用しての旅を楽しむ同好会です。地元発着ということが好評です。日中は研修を兼ねての観光。夜は親睦を更に深める懇親会。華の宴会で盛り上がり、話弾んでの二次会。酔いも手伝ってか話題豊富の会員の皆さんの硬い話、軟らかい話等、夜を徹するばかりの勢いに幹事としてお開きにするタイミングを計るのに苦労しております。また当会はご夫妻で参加される方も多く、夫婦円満に一役かっているのかも知れません。

394-5279 (S30法)

同好会一覧

旅行同好会

会員30名 年1回開催
世話人 風間和夫 394-5279

麻雀同好会

会員33名 年4回開催
世話人 小野 智 391-9523

カラオケ同好会

会員18名 毎月1回開催
世話人 内藤 慎 393-5071

郷土史の会

会員30名 年3~4回開催
世話人 三宅良太 394-5298

テニス同好会

会員15名 毎月1回開催
世話人 当間昭治 391-6023

囲碁同好会

会員25名 年8回開催
世話人 野村保夫 394-0417

園芸の会

会員25名 年6~7回開催
世話人 三宅良太 394-5298

ゴルフ同好会

会員40名 年4回+随時開催
世話人 井垣和太 04-2924-2934

俳句同好会

会員12名 年6回開催
世話人 高杉風至 391-8447

西北の風

「相変わらずバタバタしています」が口癖のような中小企業の経営で

忙殺されている毎日にも拘らず、人との関わり合いを求めて東村山稲門会に初めて参加したのが昨年の十一月。小生五六歳で、「悠々自適の老後を校友と高め合いたい」という年でもないのに何が「人との関わり合い」か。世間では、中年を過ぎると、煩わしい人付き合いは御免を蒙りたいと思う人もいれば、頼まれもしないのにお説教をしたり面倒をみたがる人がある。「円熟した人生経験から醸し出される会話が校友とさりりとした付き合いをし、互いに高め合う」のがスマートなのでしようが、「若い校友が参加したくなるような稲門会に」、「折角集っているのだから、思い切ったことをやってみて

自問自答

「稲門会と進取の精神」

夏山 一彦

は、「他と同じようなことをやってみても」等々。どうも自分は異端児的な発想や言動が多いですね。

しかしながら、大隈重信侯の「進取の精神」を自分流に解釈すると「常に問題意識をもつて社会諸事を捉え、枝葉末節の考えや常識に捕われることなく時代の先を読み、躊躇うことなく改革を実行し、大志と信念をもつて世の為、人の為に尽くす」となります。先輩方から「生意気なやつ」と一喝されることを覚悟して自問させていただくと「お年寄りのお茶飲み会になっていないか」、「面倒なことを避けていないか」、「情性になっていないか」。わが稲門会においても、あの学生時代の気概で「進取の精神」を持ち続け、行動して行きたいと考えております。

(S48社学)

「故郷

兵庫県に帰る」

八木 勝利

五年間研究室(比較憲法)に在籍し、最後の年の八月に結婚した。結婚を機会に独立した家計を営まなければならず、高田馬場に在る一橋学院という学校で、大学受験生に英語を教えて生計を立てることになった。受験生は一年が真剣勝負なので、最初のうちは戸惑いや冷や汗を流すことが度々あった。それでも三十余年の間無事に仕事を続けることができ、早稲田大学へも有望な学生達を多数送り出せたことに満足している。

六十歳を定年と意識し、この三月年並みに退職した。昨年故郷の母が病に伏したこともあり、この決断はタイミングが良かったと思っている。母は順調に回復している。故郷に帰り、家を整備するために、家具や荷物の整理、板塀の修理、庭木の剪定など可能な仕事はした。これらは一段落ついたが、改築工事は九月中旬頃まで続く予定である。黒揚羽が一匹、ゆつたりと庭中を巡り、時には突然姿を現わし、急用でもできたかのようにそそくさと飛び去る。見下ろせる青田には白鷺が佇んでおり、青鷺も何羽か混じっている。

(S47政研)

早稲田大学近未来構想

第二世紀のキャンパスデザイン

早稲田大学は、創立百二十五周年を目前に、ソフト面に加え、それを実現するのに十分なハード面の整備も進めています。校友の皆さんにとっては、思い出のキャンパスがどのように変わっていくのか、最新情報をお伝えします。

大学改革の理念

早稲田大学は、創立者である大隈重信、小野梓らの建学の理念を「グローバルな視野に立ち、ローカルな魂と行動力を持つワセダニアン」の育成にあると考え、創立百二十五周年にあたる二〇〇七年を目標に、その理念と実現を図る決意のもとに、大学改革を進めています。

早稲田大学の建学の理念は、教旨に示されている「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」です。この理念を、二十一世紀には「独創的な先端研究への挑戦」「全学の生涯学習機関化」「地球市民の育成」という三つの目標に置き換え、創立百二十五周年を機に、大学の第二世紀宣言として、ソフト・ハード両面にわたる改革に着手しています。

「独創的な先端研究への挑戦」に関しては、今後は特に、地球規模の課題に組織的に取り組み、地球と人類へ貢献する大学の志を研究面においても展開しようとするものです。

二つ目の「全学の生涯学習機関化」とは、大学は社会のインフラでなければならないとする大学の志を示すものです。人生八十歳を迎えたいま、生涯学習社会における「ハッピー・エイジング」（生涯現役を目指すための生き方）を実現するために、あらゆる「地域」と「世代」へ開かれた大学を目指して改革を強力に進めています。

三つ目の「地球市民の育成」とは、大学の教育目標を明示するものです。グローバルな目標とローカルで野性的な魂を持った、志の高い行動力のある若者を、次々と社会に送り出していく教育システムの実現を目指しています。

そして、このような目標を達成することと並行して、これらの要求を十分に満足させる良好な教育・研究環境を創ることが求められています。

都市型キャンパスと都市連携型キャンパス

大学の教育・研究環境整備の基本的な考え方は、西早稲田キャンパス、戸山キャンパス、大久保キャンパスおよび所沢キャンパスを中心に

構成される都市型キャンパスの整備と、この都市型キャンパスと連携する都市連携型キャンパスの整備に分けることができます。

後者は、本庄キャンパス、追分校地、菅平校地、松代校地、鴨川校地などです。このなかで、特に本庄キャンパスについては、二〇〇四年三月のJR上越新幹線本庄早稲田駅の開業以降、キャンパス整備が進行中であり、早稲田大学の二十一世紀の研究開発拠点の一つとして、展開が大きく期待されています。

街と融合した大学

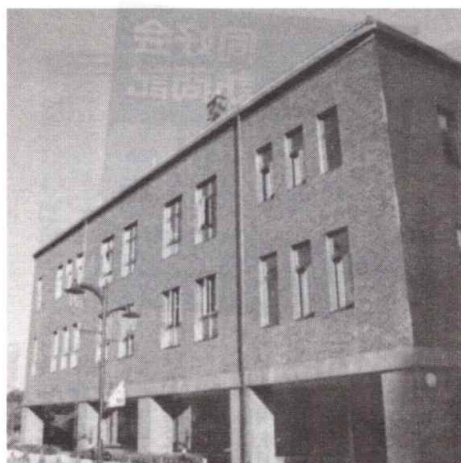
早稲田境界は昔から学生街として巷間に広く知られ、学生が学び、さまざまな活動し、生活する場でもありました。近年は、自宅からの遠距離通学の増加、学生の生活や気質の変化などにより、大学周辺に居住する学生は減少の傾向にあります。学生のみならず、内外の多くの人々が早稲田大学のキャンパスに集うことに変わりはありません。

したがって、早稲田境界の活性化を考えるうえで、大学の果たす役割が大きいことは言うまでもありません。キャンパスは、その地域を代表し、核

となるべき存在です。また、周辺地域との交流があつてこそ、大学自体も大いに活性化することになります。

キャンパス計画に際しては、大学構内だけでなく周辺地域をも含んだかたちで、街と大学が共存し融合した地域を創ることを理念としたい。

早稲田大学は、将来も「門のない大学」「キャンパス境界のない大学」、ひいては「街と融合した大学」となることが社会的に求められているといえましょう。



小野梓記念館となるβ棟



西早稲田キャンパス

西早稲田キャンパス および周辺整備

キャンパス内部の機能整備、老朽化建物の更新は、しかるべきキャンパス整備指針、ガイドラインに沿って計画的に機能の更新を行い、高機能化を図っていくかなければなりません。歴史を継承しながら更新を進め、調和のある新しいキャンパスを構築していく。その結果、キャンパスが内外の、より多くの人々に対して開かれ、さまざまな人々が参加し、活動するようになることが望まれています。

創立百二十五周年記念事業としての二〇〇七年前後のキャンパス整備のイメージは、構内各施設の更新によって、次のようなものがあげられます。

・学生会館建設

(二〇〇一年七月竣工)

・B棟建設

(二〇〇五年二月竣工)

・C棟建設

(二〇〇七年着工予定)

・正門前整備計画

(二〇〇六年二月竣工予定)

・a棟建設

・β棟建設

(二〇〇五年二月竣工)

・大隈講堂改修

(二〇〇六年着工予定)

・63号館計画

(二〇〇六年着工予定)

以上の整備計画のうち、正門前整備計画では、歴史的継承ゾーンを構成する大隈講堂、旧図書館に加えてB棟(仮称)、a棟およびβ

棟、周辺商店街などを含む一体的広場、大隈大広場を創出します。この広場において、歴史につながり、時を超えて、未来を引き寄せるさまざまな交流が行われることが期待されています。

また、この広場への生涯学習施設や新しい芸術学校の進出により、その周辺に美的で柔らかな雰囲気をもたらすことを想定し、また今後に想定される大学院構想により、新時代の学問研究を切り開く場となることも期待されています。

その一つのシンボルとして、「二百五十尺の塔」を提案しました。百二十五尺(三十七・八メートル)の大隈講堂の時計塔は文字通り「第一世紀の早稲田」の象徴でした。新しく計

画されている二百五十尺(七十五・七六メートル)の塔に、次の百二十五年へ向かう「第二世紀の早稲田」の姿を象徴させたい。

大隈大広場に立つ塔の最上階には、グローバル・プラザを設定し、ワセダニアンがこのプラザから全学を展望し、新世紀早稲田の発展を構想する場となることを願っています。

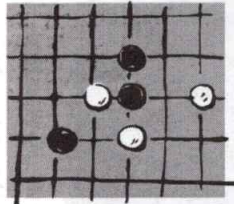
さらに、西早稲田キャンパスは防災性を高め、緑化に努めつつ全体として環境共生型の学園づくりを目指したい。西早稲田キャンパス周辺については、地域社会との密接な関係を保ちつつ、街の人々とともに、街と融合した大学と快適で賑わいのある街づくりを目指しています。(資料提供/早稲田大学広報室広報課)

(編集・高鷺近 S35文)

自己の人生が如何に展開していくかを的確に判断するのは困難である。経過していく日々の生活は、一生の間、常に自分が目指す世界を軌道修正しながら生きる毎日なのかも知れない。

それは、まるで碁盤の碁石のように、打つてみなければどうなるかわからない未熟な者は、したて(下手)だといった無理に石を取ろうと強引さがでて失敗することが多く、逆にうわて(上手)には固く打ちすぎて地合で負けてしまう。しかし、高段者はその場その場に応じた定石を常にわきまを、脱線することは少ない。

すていし(捨石)を上手に使い分けるのに、兼好法師の「徒然草一八八段」に、「一つなりともまさらんかた方(こそ)つくべきを、十までに成りぬれば、惜しく覚えて、多くまさらぬ石には換



碁盤の石は人生の縮図 福田 晃

へにくし。これをも捨てず、かれをも取らんと思ふ心に、かれをも得ず、これをも失ふべき道なり。——とある。

これは、囲碁を嗜む人なら誰でも分かることであるが、捨石を上手に打ち分けるのが有段者で、初心者ほど、あの石もこの石も取られまいと欲張るので、結局は大事な石まで取られて勝負に負けてしまう。即ち、囲碁では、たとえ一つの石であつても、大事な石は捨ててはいけないのであつて、そこに見極めが必要で、意味のない十の石を何時までも惜しんではいけないのである。

このように囲碁の魅力は、人生の縮図を連想させるところにあり、先々をどれだけ読み切るかに、勝利の女神はほほえむのである。予測できない人生を、自分にとって今何が必要かつ大事なのかを常々先を見つめて考えてみる事が、人生の勝利者となる道なのかも知れない。

(S37教育)

稲 酔 抄

空の青ばかりなりけり白木樅

井垣稲雀

秋あかね群飛ぶ中をひとり行く

大西回生

鯉棲みし淵もあとなし秋出水

大野恵峰

雀らのどつと飛び出す稲田かな

風間和夫

いちにちを廻りつづけて木の実独楽

菊田一平

後輩の退職通知鯛雲

幸田瑞雄

十三夜少し淋しく酒を飲む

小亀稲生

迷い猫探すポスター秋の暮

塩見之一

仮渡しバス折り返す峠口

高杉風至

秋草にまろびて雲の高さかな

内藤 慎

秋天を切り裂く堂の屋根の反り

丸本北窓

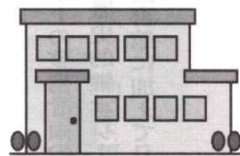
近寄りぬ茶垣に咲きし花ありて

三宅良太

天高し窓に母子の見え隠れ

八木竜湖





事務局から

■新入会員の皆さん(敬称略)

石井 久長 昭43 法
河野 憲一 平6 人科
芦田 均 昭42 理工
朝木 吾朗 昭31 商
夏山 一彦 昭48 社学
■会の事務所の変更

五月から当会の事務所が左記の住所に変更になりました。

東村山市恩多町五二四一二七

小亀 輝雄 気付

電話〇四二―三九四―六九五

■会員募集

お知らせの方で稲門会未加

「東村山稲門会に入会して」

石井 久長

昨年四月の定年を機に東村山に転居し、稲門会総会と新年会に参加しました。以前に川崎市の総会に出席したことがありますが、出席人数は百名程度であり、人口や会員数から比較すると東村山の盛況ぶりには驚くばかりです。偏に役員の方々のご尽力の賜物であり、会員の一人として今後

六十歳越え第二の人生、真つ最中。人生って「入」と「出」の繰り返しと

「入」と「出」

芦田 均

「入」の縁返しと思う。誕生が「入」「死」が「出」。小学校に始まる大学までの入学「入」と卒業「出」。その間の先生、友人、同級生との出会い「入」と別れ「出」。そして社会生活、結婚、子供達の誕生、親との別れ。漸く

私の故郷は、東京は下町の葛飾です。戦前は周囲が水田地帯でたくさんさんの灌漑用の小川や溜め池があつて、夏ともなれば魚釣り、蜻蛉、蝉取り、螢狩りなど自然のなかで毎日を遊びほうけておりました。戦後は板橋、

「東村山の螢」

小林 傳

東村山に移り住み、螢には無縁でした。ところが、今年七月初旬になんと懐かし

SHORT

ドキュメント 事務局長の某日



【当日】今年になって二回目なのだ

て、歩くのも辛くなってきた。腰の曲がったおじいさんよろしく、部屋の中を移動する様子を誰かが見たら、「やばいおまえもトシだな」と冷やかされるに違いない。確かにそうだな。

【翌日】目覚めに、足の筋肉もつるので整形外科で、診てもら。レントゲン写真を見て「まー加齢現象で腰椎の間が狭くなり、刺が一寸出ているがたいしたこと無いよ。漢方薬を出すから、飲んでみて」と軽くあしらわれる。「何か普段と違うことやってない？」と言われて

編集後記

会報九号制作の初会合は七月八日初夏の陽が眩しい朝でした。編集後記を編む今宵は、巷間に選挙街宣の喧騒も失せ、早や虫達の競演が心地よく響き渡る初秋を迎えました。

深更のTV各局は郵政法案の民意決着速報を刻々と報じています。脱稿した早暁には与党の大勝利が確定しました。改革を望む民意を圧倒的に掴んだ結果とも。

小泉政治が明日の日本を変えられるか。懸案の構造改革を加速させることが第一義です。勝って驕ることなく自制とバランス感覚が要諦です。母校の商店街から国会議員が初誕生し、女性、若年議員が一気に増加したのも今選挙の特徴です。

当稲門会も女性、若手会員の拡充が積年の課題です。記録的な真夏日の総選挙も、編集諸氏の緊張の暑い夏も終わりました。(岡田)